

東京都支部中小病院研究会のご紹介

□概 要

研究会活動は都内で月 1 程度の会合を開催して、情報交換は都度メールにて交換しています。クラウド型コラボレーションツール「サイボウズ live」を利用して情報交換を行っています。

現会員：20 名程度

〔会員所属：設計事務所、ゼネコン、准教授、病院管理職、臨床検査会社、医材メーカ、ファイナンス会社、ITメーカ、区民活動C役員等〕

□経 緯

以前は第二研究会と言う名称で活動していましたが、その後第一研究会と第二研究会が合体して、2013 年より中小病院研究会と言う名称で活動しています。

研究テーマの基本は「これからの中小規模医療施設の経営」です。

当中小病院研究会は、頑張っている中小規模病院・診療所の運営や、経営の収益構造の分析を基本に据えながら、研究会会員の実務として役に立つ提案を探り出しながら、会員相互のスキルアップの為に調査研究を行っています。

同時に成果として日本医業経営コンサルタント学会での提案も目指しています。

参考まで過去の発表テーマ表題は下記となっております。

第 12 回 神奈川大会の発表テーマ

: 「地域中小病院の経営モデルとしての医療・介護複合体」

: 「在宅療養支援診療所と高齢者施設の連携」

第 13 回 金沢大会の発表テーマ : 「中小病院における緩和ケア病棟について」

第 14 回 神戸大会の発表テーマ : 「中小病院の外来化学療法」

第 15 回 東京大会の発表テーマ

: 「中小病院における地域連携」

: 「中小規模病院における治験について」

第 16 回 沖縄大会の発表テーマ

: 「中小規模医療施設における放射線治療の可能性について」

第 17 回 秋田大会の発表テーマ

: 「在宅療養支援病院の地域連携における課題と対策について」

尚、12、13、14 回では三連続で学会最優秀賞を受賞し、16 回では優秀賞を受賞した実績を持っています。

□最近の活動内容

◆中小病院の地域での生き残り手法

副題：地域のポジショニングに奮闘するケアミックス病院を応援します。

○東京大会テーマ予定2題

□『中小病院における透析医療について』

今回の診療報酬改定では、2025年までの地域包括ケアシステム構築を大原則として特定除外制度の廃止などが行われ200床未満の中小病院は、更なる経営方針の再考を余儀なくされています。月40万円といわれる透析患者にかかる医療費の増大が問題視され、透析医療においても地域における自院の方向性を考える時期となっています。今回東京都支部中小病院研究会では看護必要度と人員体制に焦点をあて中小病院の経営に資する医療としてのあり方を調査・検討し、コンサルタントとして透析医療に関与する際の提言を試みようと思います。

・透析室のアンケート調査の実施及び2から3件程度のヒアリング調査を実施します。

□『医療事故（感染事故）が病院経営に及ぼすインパクト』

医療事故の中でも感染事故が病院経営に及ぼす影響を、最新の事例を種々のニュースから組み立てて時系列に並べ『見える化』することにより、病院の対応がどの様であったかを考察すると同時に、論文や事故例、判例等の調査及び勉強会により、過去の事例を参考にどのようなインパクトがあるかをいくつかの代表例としてまとめます。医療事故の病院保険賠償責任保険や医師賠償責任保険を扱っている保険会社へのヒアリング調査で、より実際の動きに理解を深め、医療事故の訴訟事例の解析を行っています。また、経営インパクトを時間とお金で表す手法についても広く文献等を集め検討しています。今回は少し踏み込んだ形で研究を行ったのでこれを報告したいと思います。

・法律事務所や保険会社からのヒアリングを行います。

今期の学会に向けて研究会を二班に分けて病院の直接の声の事例収集を中心に、中小規模病院の経営・運営テーマの抽出・分析・評価を考えます。調査の基本は病院経営者等ヒアリングにより経営や運営方針をお聞きして実務上の理解をすることにあります。調査研究関係では新しい視点を求めて他の研究会と共同で調査を進めることもあります。

□質問先

又、ご不明な点がありましたらご気軽にご連絡ください。

東京都支部中小病院研究会 運営責任者&リーダー 吉崎 隆

連絡先：携帯：090-5434-8780

E-mail：takashi.yoshizaki@toda.co.jp